

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町社会教育委員の会・公民館運営審議会合同会議
- 2 会議日時 令和5年3月16日(木) 19時30分から20時50分まで
- 3 開催場所 富士川町役場 1階会議室
- 4 出席者数
 - (1) 委員 15名
 - (2) 事務局 6名
 - (3) 傍聴 0名
- 5 議題
 - (1)令和4年度の社会教育事業報告について
 - (2)令和5年度の社会教育事業計画(案)について
 - (3)令和5年度社会教育計画(案)について
 - (4)その他
- 6 会議資料の内容
 - (1)開会
 - (2)社会教育委員長あいさつ
 - (3)教育長あいさつ
 - (4)協議
 - ①令和4年度の社会教育事業報告について
 - ②令和5年度の社会教育事業計画(案)について
 - ③令和5年度社会教育計画(案)について
 - ④その他
 - (5)閉会
- 7 発言の内容
 - (1)開会

(2) 社会教育委員長あいさつ

(3) 教育長あいさつ

(4) 協議

①令和4年度の社会教育事業報告について

事務局より令和4年度の社会教育事業について資料を用いて報告した。

○委員：12月17日に開催を予定した冬のブックトークに参加申し込みが無かったという報告だが、この現状を事務局はどのように捉えているか。

事務局：広報等で開催の周知はしたが、内容の周知が足りず興味を持っていただけなかったと捉えている。

○委員：夏に予定されていた水泳記録会がコロナ禍で急遽中止となってしまった。県大会の予選も兼ねているため、県大会をめざしていた子は富士吉田会場まで足を運ぶ必要があった。富士吉田会場は屋内プールで屋外の利根川プールより感染症のリスクがあったと感じた。中止は仕方ないが県大会の予選も兼ねているためアフタフォローをしっかりお願いしたい。

事務局：水泳記録会直前に連日1,000人超えの感染者数で急遽中止となってしまう、なんとか近隣の甲府会場等の別の会場での受け入れをお願いする中で、富士吉田会場のみ受け入れが可能であったため、富士吉田会場を案内した。

県大会の水泳記録会を教育委員会が主催で実施しているところは、県内でも富士川町だけである。行政が主催ということで子どもたちの安全を最優先に考える必要があるため、屋外プールではあったが中止せざるを得なかった。こうしたことから教育委員会主催での県大会予選を兼ねた水泳記録会の運営は限界と感じ、令和5年度からは、富士川町では県大会の予選会としての記録会を行わず、県大会を目指す場合は、初めから甲府会場などに申し込んでもらうこととする。

○委員：町の水泳記録会はどのような運営になるということか。

事務局：学校主催による記録会とする。

○委員：朗読発表会や茶道教室、おことくらは主催が教育委員会となっているが、文化協会の団体が実施しているので主催は文化協会ではないか。

事務局：これら3つの事業は放課後子供教室推進事業として補助金を受けながら実施している事業である。文化協会の各種団体に協力をいただいているが教育委員会が補助金を受けて事業執行をしていることから主催を教育委員会と記載した。文化協会と共催という記載のほうが良いか検討する。

②令和5年度の社会教育事業計画（案）について

事務局より、資料を用いて令和5年度の社会教育事業計画について提案を行なう。

○委員：文化財保護費において、令和4年度は歴史文化館塩の華への整備費用が計上されていたため、令和5年度は大きく減額となっている。歴史文化館だけではなく他の町内の文化財管理にも目を向けて費用計上をしていただきたい。看板が無かったり、文化財の管理が疎かになっていたり、他の自治体に比べ文化財の管理が劣っていると感じる。

事務局：文化財は、それぞれ管理者や所有者がおり、文化財の管理は管理者や所有者が行うことが前提である。管理や修繕を行う中で、費用が必要な場合は、補助金を交付する制度を設けており、教育委員会はその制度に基づき支援している。毎年度、修繕計画の調査を行い、修繕等の予定がある場合は制度に沿った補助金額の予算確保を行っている。

○委員：増穂地区は看板が無いところが多く、文化財がどこにあるかもわからない。他の自治体では文化財がとても綺麗に管理されている。

管理者や所有者から計画が出てこなければ予算計上しないというような受け身の体制ではなく文化財の管理にもっと積極的に取り組んでほしい。

事務局：看板が無い文化財もあることは認識しているが、町内の文化財がどこにあるかわかるよう、令和2年度に文化財めぐりマップを作成している。他の自治体で学芸員が配置されている自治体は文化財行政に力を入れ、文化財もよく管理されている。しかしながら、文化財の管理は、やはり管理者や所有者の意向が前提となる。今後も管理者や所有者の意向に沿うよう必要な支援を行っていきたい。

③令和5年度社会教育計画（案）について

事務局より、資料を用いて令和5年度社会教育計画について提案する。

○委員：スポーツ協会だよりの中で、各種大会の表彰結果が報告されているが、結果が漏れて掲載されてない場合がある。スポーツ協会だよりに掲載されることを励みに頑張っている子もいるので気を付けてほしい。

事務局：漏れの無いよう今後は更に注意する。

④その他

事務局より、山梨県社会教育委員の会議の提言書や社教連会報、社教情報を配布する。令和4年11月に山梨県で開催された社会教育研究大会の報告書も併せて配布する。

○委員：歴史文化館塩の華の感想として、音声による説明がシアターとトーキング角倉了以で音が重なり聞こえにくい部分があった。入口に番号が記された写真が展示されているがなんだかよくわからなかった。来館者数はどのくらい来てるのか。周知をもっとすると良い。

事務局：既存の施設を再利用ということでスペースの制限があり、音が混在してしまっている。音量調整などで対応していきたい。入口の

番号と写真は、その部分でなんだろうと思わせるのが狙いであり、館内を巡るとその謎が解ける仕組みになっている。来館者は、現時点で富士川舟運歴史館と富士川近代人物館の延べ人数で2, 200人ほどである。

(6) 閉会